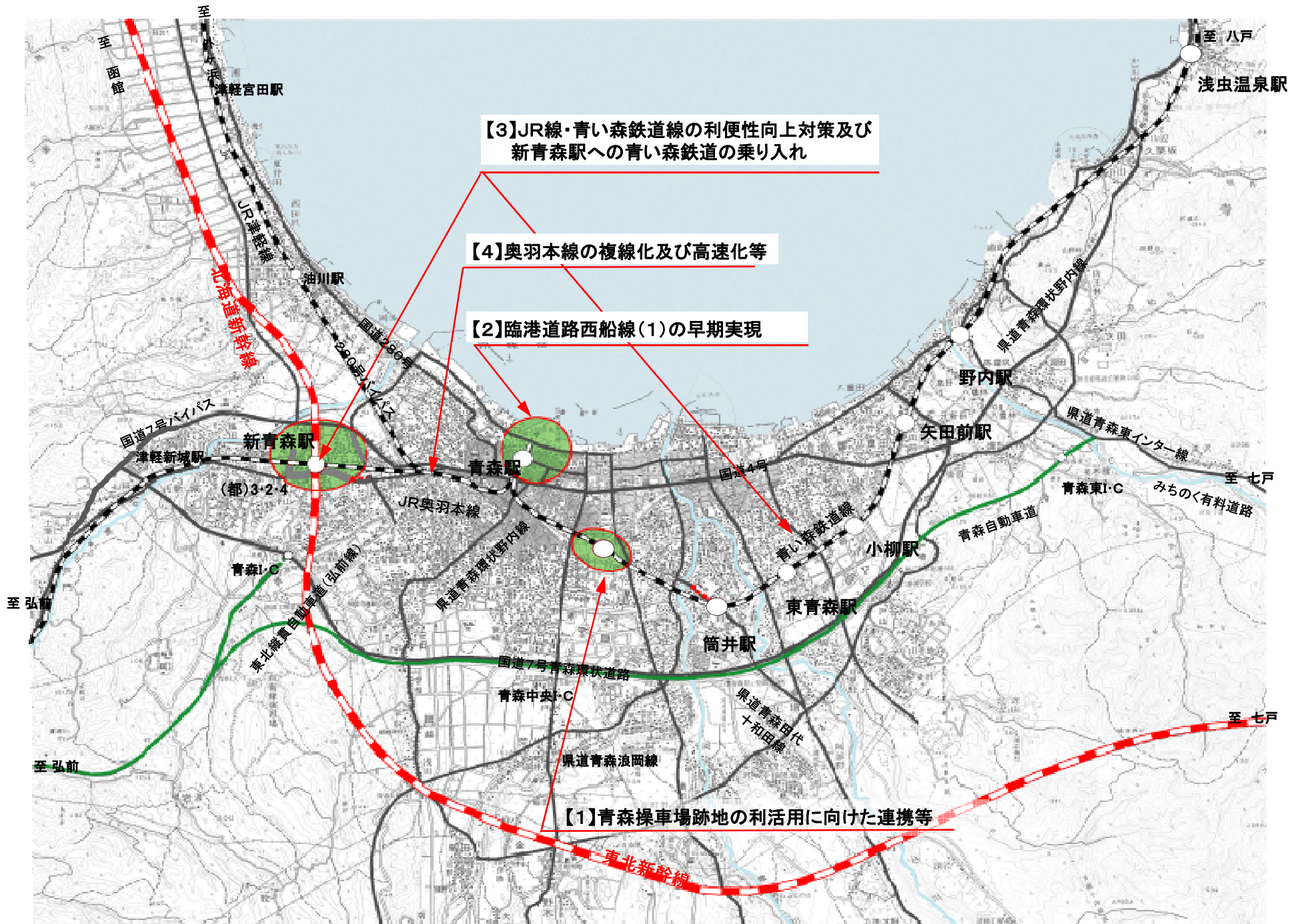


要望項目	青森操車場跡地をはじめとする都市拠点の整備、鉄道の有効活用及び機能充実に向けた取組について（継続）		
要望先	国	国土交通省（鉄道局（総務課、幹線鉄道課、鉄道事業課、施設課）、都市局（市街地整備課、街路交通施設課）	
	県	交通・地域社会部（鉄道対策課）、県土整備部（都市計画課、港湾空港課）	
	その他	東日本旅客鉄道株式会社、青い森鉄道株式会社	
関係法令		事業主体	青森県、青森市、東日本旅客鉄道株式会社、青い森鉄道株式会社

要 望 事 項 の 内 容
<p>本市では、平成30年3月に策定した「青森市立地適正化計画」及び「青森市地域公共交通網形成計画」に基づき、『「コンパクト・プラス・ネットワーク」の都市づくり』として、都市の効率性を高めるコンパクトな複数の拠点づくりと、それらの拠点を接続する公共交通ネットワークを有機的に連携させることにより、市内各地域の特色を活かしつつ、持続可能な都市づくりを推進しております。</p> <p>このうち、都市機能誘導区域の1つである「操車場跡地周辺地区」においては、スポーツのみならず多様な催事ができる交流拠点として青森市総合体育館の整備が完了し、令和6年7月に供用を開始しました。</p> <p>今後、更なる都市づくりを推進するためには、青森操車場跡地をはじめとする都市拠点の整備、鉄道の有効活用及び機能充実に向けて取り組む必要があります。</p> <p>つきましては、特に重点的に進めるべきと思慮する次の事項について特段の御配慮をいただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 青森操車場跡地の利活用に向けた連携と青い森鉄道線への新駅設置の早期実現</li> <li>2. 青森駅周辺における東西市街地のアクセス性を高めるための臨港道路西船線（1）の早期実現</li> <li>3. JR線・青い森鉄道線における利便性の高いダイヤ編成・輸送サービスの実現及び青い森鉄道の新青森駅（JR奥羽本線）への乗り入れ</li> <li>4. JR奥羽本線（川部・青森間）の複線化及び高速化等利便性向上の早期実現</li> </ol>

現 在 ま で の 主 な 経 緯 ・ 参 考 事 項	
平成22年12月	東北新幹線「八戸・新青森間」開業、青い森鉄道線「八戸・青森間」開業
平成23年3月	青い森鉄道線 野内駅 開業
平成24年2月	「青森駅を中心としたまちづくり基本計画」の策定
平成26年3月	青い森鉄道線 筒井駅 開業
平成28年3月	北海道新幹線「新青森・新函館北斗間」開業
平成28年7月	「青森駅自由通路整備等に関する基本協定」の締結
平成29年8月	浅虫温泉駅バリアフリー整備勉強会の設置（計11回開催）
平成30年3月	「青森市立地適正化計画」及び「青森市地域公共交通網形成計画」の策定
平成30年6月	「青森駅周辺のまちづくりに関する連携協定」の締結
平成31年3月	「青森操車場跡地利用計画」の決定
令和元年7月	市民の新駅利用意向に関する調査データ等の県への情報提供
令和2年10月	青森操車場跡地新駅整備勉強会の設置（計6回開催中）
令和3年3月	（仮称）青森市アリーナ及び青い森セントラルパーク等整備運営事業 本契約の締結
令和3年3月	青森駅自由通路 供用開始（JR青森駅東ロビル内を除く）
令和5年3月	青森駅西口駅前広場 供用開始
令和5年12月	青森操車場跡地周辺整備（東西道路等）全面供用開始
令和6年3月	JR青森駅東ロビル内自由通路 供用開始
令和6年3月	浅虫温泉駅バリアフリー設備 供用開始
令和6年7月	青森市総合体育館 供用開始
	担当部署名 青森市 都市整備部都市政策課



【3】JR線・青い森鉄道線の利便性向上対策及び  
新青森駅への青い森鉄道の乗り入れ

【4】奥羽本線の複線化及び高速化等

【2】臨港道路西船線(1)の早期実現

【1】青森操車場跡地の利活用に向けた連携等

青森操車場跡地をはじめとする都市拠点の整備、鉄道の有効活用及び機能充実に向けた取組について(継続)

要望項目	河川改修等の整備促進について（継続）		
要望先	国	国土交通省（水管理・国土保全局（治水課））	
	県	県土整備部（河川砂防課）	
	その他		
関係法令	河川法	事業主体	青森県、青森市

要 望 事 項 の 内 容

本市における河川流域一帯の治水・防災対策と河川環境の向上等を図るため、市内各河川の整備が着実に進められてきているところであります。

堤川水系の堤川及び駒込川につきましては、河道改修や下湯ダム等の完成により、駒込川合流点から上流の堤川は、概ね 1/100 の治水安全度が確保されておりますが、駒込川は、治水安全度が依然として低い状況にあります。このことから、駒込川の治水安全度を確保するため、令和元年度から着手された駒込ダム本体建設工事の着実な推進が必要であります。

天田内川水系天田内川は、河口から約 1.4km 区間の暫定断面による河道拡幅が完了し、中流部の捷水路約 1.3km も暫定断面により供用開始されております。引き続き、天田内川の治水安全度の確保に向けては、河道掘削や護岸整備工事の着実な推進が必要であります。

貴船川水系貴船川は、都市基盤河川改修事業により本市が事業主体となり整備を行ってきており、河口から約 150m の河道拡幅が完了しているところであります。引き続き、貴船川の治水安全度を早期に向上させるため、今後の改修区間のうち、市道橋、鉄道橋、県道橋が約 100m の区間で連続している橋梁架替区間については、大規模特定河川事業による着実な整備、また、都市基盤河川改修事業により本市が事業主体となり整備を進めている区間についても、河道掘削や護岸整備等の着実な整備推進が必要であります。

つきましては、本市における河川流域一帯の治水・防災対策と河川環境の向上等を図るため、次の河川の整備促進について特段の御配慮をいただきたい。

1. 駒込ダム建設事業の促進
2. 天田内川河川改修事業の促進
3. 貴船川河川改修事業の促進

現 在 ま で の 主 な 経 緯 ・ 参 考 事 項

全体計画		令和5年度までの事業費	令和6年度事業費
(1)駒込ダム建設事業	S57～R13 約 600 億円	18,000 百万円	1,980 百万円
(2)天田内川河川改修事業 総合流域防災事業	S49～R10 約 78 億円	6,624 百万円	10 百万円
(3)貴船川河川改修事業	H16～R13		
貴船川大規模特定河川事業	約 45 億円	270 百万円	240 百万円
貴船川都市基盤河川改修事業	約 25 億円	1,966 百万円	51 百万円

担当部署名 青森市 都市整備部公園河川課

# 駒込ダム建設事業

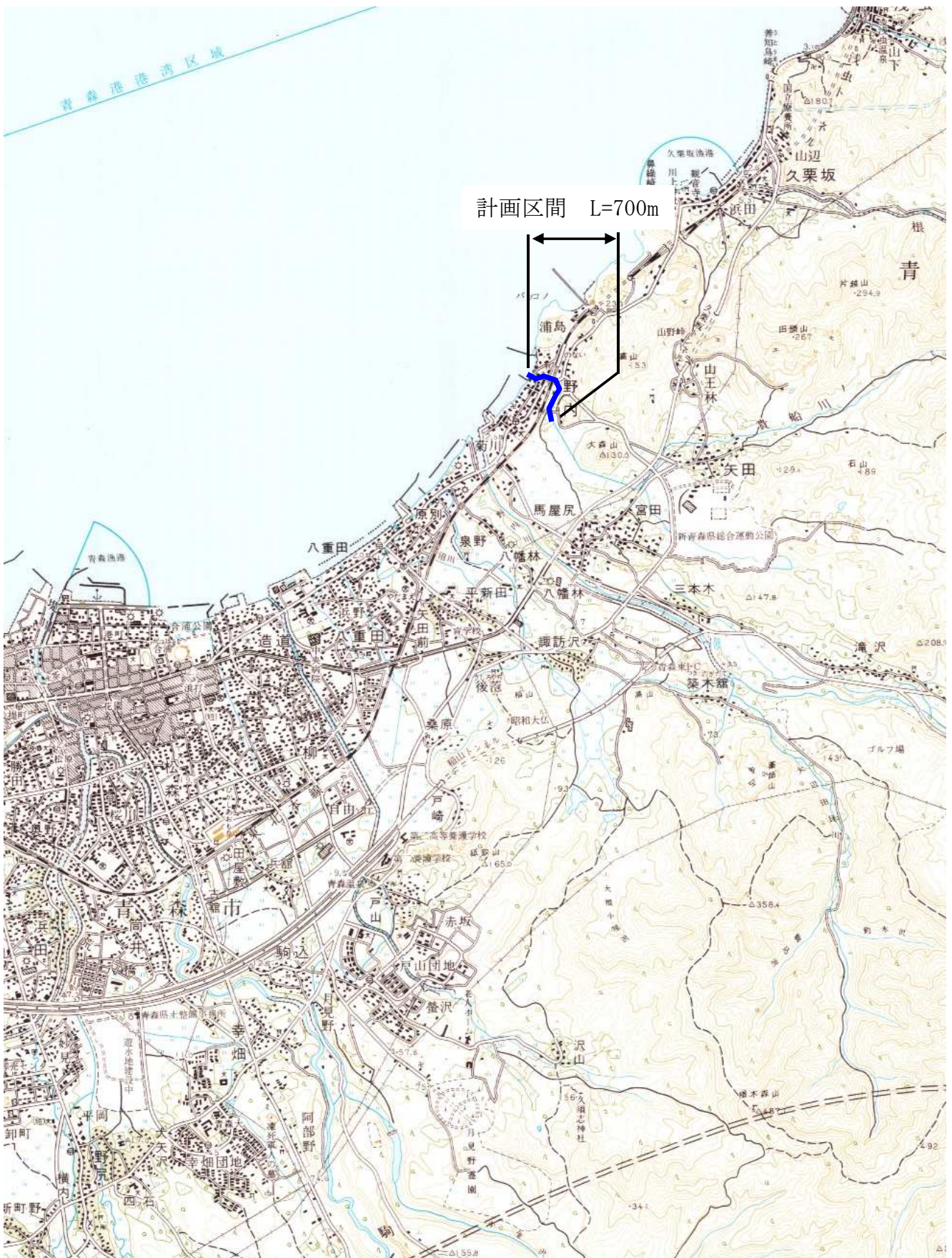


ダム本体  
重力式コンクリートダム  
総貯水容量 780万 $m^3$

# 天田内川河川改修事業



# 貴船川都市基盤河川改修事業



要望項目	雪総合対策の推進について（継続【一部新規】）		
要望先	国	国土交通省（国土政策局（地域振興課）、不動産・建設経済局（建設業課）、大臣官房（技術調査課）、道路局（企画課、環境安全・防災課））、総務省（自治財政局（財政課））	
	県	財務部（市町村課）、県土整備部（道路課）、交通・地域社会部（地域交通・連携課）	
	その他		
関係法令	豪雪地帯対策特別措置法 積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律	事業主体	国、青森県、青森市

要望事項の内容	
<p>本市は、県庁所在地としては全国で唯一、市域全体が特別豪雪地帯に指定されており、人口 30 万人規模の都市としては、国内はもとより世界でも有数の多雪都市であることから、市民の雪処理への関心が高く、冬期間の安全・安心のための雪対策の充実が求められています。</p> <p>本市では、「青森市雪対策基本計画」に基づき、「冬期間における安全で安心な道路環境の確保」、「冬期間における災害に強いまちの機能の確保」など総合的な雪対策を推進しており、官民連携の下、除排雪業務の効率化・省力化に関する調査を進めているところです。</p> <p>しかしながら、近年の気候変動の影響による降雪の様態の変化やそれに伴う雪捨て場の確保、雪対策の担い手である除排雪事業者における人手不足や近年の人件費の上昇などによる厳しい経営環境、また、急速な少子高齢化に伴う住民の自助による雪への対応力の低下など、雪対策における課題は複雑化・深刻化しており、依然として冬期間における都市機能の維持や市民生活の安定を図る上で課題が多く、国及び県との更なる連携・支援を必要としています。</p> <p>令和 5 年度は、気温が比較的高く少雪傾向で、除排雪の作業回数等が少なかったことから、最低保証制度により持続的な除排雪体制の確保に取り組んだところです。</p> <p>このように、自然条件や社会・経済状況等の著しい変化に対応するために、国・県等の関係者との連携及び ICT を活用した除排雪業務における効率化・省力化の体制構築により雪害対策を強化する必要があります。</p> <p>つきましては、豪雪地帯対策特別措置法に基づく豪雪地帯対策基本計画及び青森県基本計画『『青森新時代』への架け橋』に基づく各種雪対策の一層の強化・充実を図っていただくほか、ICT 等の先進的技術を活用した本市の取組への支援など次の事項について特段の御配慮をいただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>豪雪地帯における市道の除排雪事業に対する支援の強化及び社会資本整備総合交付金などの財源の確保</li> <li>除排雪、道路状況等に関する情報提供の強化及び国、県、市の除排雪体制の連携強化</li> <li>流・融雪溝整備に対する補助の充実及び県道への流・融雪溝の整備促進</li> <li>国道・県道における冬期バリアフリー対策の推進及び市道における冬期バリアフリー対策に対する支援</li> <li>ICT や AI 技術等を活用した除排雪の省力化・効率化に関する取組への支援</li> <li>除排雪の担い手である除排雪事業者の確保と育成を図る施策の推進</li> <li>国・県・市、住民、ボランティア等が協力できる、連絡・調整、応援体制の強化</li> <li>通学路等歩道の安全確保や屋根雪処理が困難な世帯に対する除排雪等、緊急を要する経費への財政措置</li> <li>円滑で効率的な排雪作業の実施に向けたや国道・県道の早期除排雪による排雪運搬ルートの確保</li> <li>関係機関への働きかけにより、円滑に重機やダンプトラック等の除排雪車両の融通ができる体制構築の推進</li> <li>少雪時におけるオペレーターの人件費など除排雪体制維持のための経費に対する支援制度の創設</li> </ol>	

現在までの主な経緯・参考事項												
平成 27 年 10 月	「第 2 期青森市冬期バリアフリー計画」策定											
平成 29 年 12 月	青森港本港地区緑地（浜町）雪処理施設供用開始											
令和 元年 10 月	「あおもりスマートシティ協議会」設立											
令和 3 年 3 月	「青森市雪対策基本計画」策定											
※データ：気象庁												
年度 区分	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	過去10カ年の平均	
最深積雪	123	107	56	110	97	38	129	149	103	64	98	
累積降雪量	576	556	474	659	546	264	488	600	557	460	518	
担当部署名	青森市 都市整備部道路維持課 青森市 都市整備部道路建設課 青森市 浪岡振興部都市整備課											